

令和7年度 学校評価表(計画・中間・最終)

【5月末・11月末・3月初旬】

学校名(熊野町立熊野第一小学校)

a 学校教育目標	夢に向かって 自ら学び 共に伸びる	b 経営理念 ミッション・ビジョン	○学校教育目標の理解の下、職員が協働し、助け合いながら教育活動に取り組む。 ○学校教育目標の具現化に向け、児童一人一人に応じた教育活動を展開する。 ○地域の伝統と文化を尊重し、子供・教職員・保護者・地域が共に学ぶ。
-------------	-------------------	-------------------------	---

評価計画(5月末提出)						自己評価				学校運営協議会委員による評価			n改善方策					
重点 目標	c 中期経営目標 (3年後を見据えて)	d 短期経営目標 (今年度)	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	h	達成値	達成値	i=h/g	j 評価 A~D 4段階 評価	k 結果と課題の説明 (短期経営目標につ いての評価結果)	l 自己評価に関する評価 (関係者評価者の合計人数)			m コメント	10月	2月	
						10月	2月	達成度	イ 適正			ロ 不適 正	ハ 分か らない					
「自ら学びを進める児童」の育成	分かる授業、楽しい授業を通して、児童の「学びたい」を高め、学力を向上させる	○児童自らが問いをもって協働的に学び合い、振り返りの質を高める	・本質的な問いによる授業改善や探究的な学習の充実 ・振り返りの視点の明確化 ・協働的な学習活動の充実 ・ICT活用における自己決定的学習の充実	教職員及び、児童アンケートの肯定的評価の割合	80%													
		○異学年活動を通して「あこがれ」と「思いやり」の心情を育てる	・計画的な縦割り班活動(なかよし班活動)の実施	教職員及び、児童アンケートの肯定的評価の割合	80%													
		○体育科の授業や学校行事、遊具を活用して体力を向上させる	・場の工夫や授業展開を工夫による運動量の確保 ・運動委員会を中心にした外遊びへの関心を高める活動の実施	児童アンケートの肯定的評価の割合	80%													
校地の域実と現共にある学	コミュニティスクールの取組に、児童、学校、保護者、地域が参画する	○地域にある「人・もの・こと」に積極的に関わり、直接体験を重視した教育活動を充実させる。	・地域の学習材や人材を活用した地域がフィールドになる学びの充実 ・CS委員会によるCSだよりの発行など積極的な情報発信	児童及び、保護者アンケートの肯定的評価の割合	90%													

j評価 A~D 4段階評価

- A: 100 ≤ (目標達成)
- B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
- C: 60 ≤ (もう少し) < 80
- D: (できていない) < 60